

\*31\* ¥山にドットを重ねて表現するグラフィカルなイメージ







4-3



さらに、これまでと同様の手順で花びらや茎、葉などの写真を作業ファイルにコピー&ペーストで配置。 それぞれ、レイヤーメニュー→"レイヤーマスク"→"すべての領域を表示"を実行し、レイヤーマスクを追加 したら不必要な個所を塗りつぶして隠しておく4-1。続いて、配置した葉のレイヤーを選択し、レイヤーを 複製して前面に配置したら、"アーティスティック"→"色鉛筆…"フィルタを、[芯の太さ]、[筆圧: 11]、 [用紙の明るさ:50]で実行4-2。色鉛筆で描いたような質感に加工した。ここで、このレイヤー は [描画モード:オーバーレイ]としておく4-3。



5-1





5-2



次に、Lesson4で複製した葉や花のレイヤーを、再度複製して、鉛筆画風の葉のレイヤーの前面に配置。こ こで、描画色を水色、背景色を白として、"スケッチ"→"ハーフトーンパターン…"フィルタを、[サイズ: 3]、[コントラスト:48]として実行5-1。これで、背面と同じ形のドットパターンが作成できた。続け て、Lesson3で配置した葉のレイヤーを複製したら、同様にして、"スケッチ"→"ハーフトーンパター ン…"フィルタを適用。ここでは、レイヤーを[描画モード:乗算]として、葉の画像になじませておく5-2。

ワンポイント・アドバイス

"スケッチ"→"ハーフトーンパターン…"フィルタは、画像のサイズなどによって、[サイズ]の値を変 更し、ドットの大きさを変えると見た目に変化をつけることができる。また、[コントラスト]の値が 低いとメリハリのない印象となってしまうので気をつけよう。







6-2





6-4



ここで、花の写真を開き、最前面にコピー&ペーストで配置したら、これまでと同様の手順で必要な個所 のみ抽出しておく6-1。続けて、"スケッチ"→"ハーフトーンパターン…"フィルタを [サイズ:5]、 [コ ントラスト:48]の値で実行6-2。さらに、イメージメニュー→"色調補正"→"色相・彩度…"で、 [色彩の 統一]にチェックを入れ、色味を紫に変更した。ここで、このレイヤーを [描画モード:焼き込みカラ ー]としておく6-3。さらに、最前面のレイヤーを複製し、複製元のレイヤーと位置をずらして配置。続け て、イメージメニュー→"色調補正"→"色相・彩度…"で、 [色彩の統一] にチェックを入れ、色味を緑に変 更した6-4。



## レイヤーの透明度の値を下げて版ずれを表現



7-2



7-3



ここで、配置した花のレイヤーを選択し、複製したら、複製元の背面に少しずらして配置。ここで、レイ ヤーの[不透明度:30%]とした7-1。さらに、複製したレイヤーを再度複製したら、位置をずらして配置 して、版ずれ風に見せた7-2。ほかのパーツでも同様の手順を繰り返しておく。続けて、レイヤーメニュー →"新規調整レイヤー"→"グラデーションマップ…"で、青、赤、黄色に変化するグラデーションを設定し、 全体の色味を黄色に変更7-3。最後に、文字などのパーツを配置すれば完成だ。